

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 こまくさ	代表者	取締役 福原 孝子	法人・ 事業所 の特徴	『24時間安心できるケアの提供』の理念のもと、利用者様・ご家族・職員共に明るい事業所です。その為、医療機関とも密に連携を取っています。 訪問サービスにも力を入れており、高齢世帯や独居の方にも安心できるケアを提供しています。介護度に関係なく、その時その時を楽しめようような支援を行っています。
事業所名	コミュニティケア こまくさ	管理者	所長 福原 孝子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	1人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	家族からの意見を聞く。	要望や様子を家族と話すの機会は増えてきた。	外部の方とのかかわりを増やしてみる。	評価表の実施を民生委員や家族へも依頼をする
B. 事業所のしつらえ・環境	“事業所に入りやすい工夫”の具体的な策を考える。	写真等の掲示で雰囲気づくりをした。行事を通して地域の方の参加ができた。	写真で雰囲気が伝わっている。	飾り付けや写真を活かして四季を感じられる雰囲気を作る
C. 事業所と地域のかかわり	地域のお祭りに事業所として参加する。	事業所へお祭りの神輿が入った。地域との交流が増えてきている。	地域とのかかわりが増えて居ている。お祭りでのかかわりが良かった。	移動販売の実施を目指す
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	個別のケースで、包括支援センター協力で民生委員との連携をはかる。	個別事例での民生委員との連携が図れた。	個別の事例で地区の方、民生委員とつながりが増えている。	引き続き、地区の民生委員との連携を図る
E. 運営推進会議を活かした取組み	民生委員の会議に参加し、そこでの推進会議の開催を検討。	会議に参加できなかった。	後半は災害等で会議への参加が難しい	地域の事業所への参加依頼
F. 事業所の防災・災害対策	館山市の「福祉避難所」へ登録する。	福祉避難所についての理解が弱かった。	実際の災害での連携、問題点も色々浮かびあがったと思います。	今一度、マニュアルの見直し 非常時の物品の確保